

### コンバインドABS

シルバーウイングGT<400>には、標準装備しているコンビブレーキシステムに加え、コンバインドABS搭載車をタイプ設定。コンバインドABS(液圧制御式 前・後輪連動アンチロック・ブレーキシステム)は、前述の「コンビブレーキシステム」と「ABS(アンチロック・ブレーキシステム)」を組み合わせた、Honda独自のブレーキシステムです。

このシステムは、左ブレーキレバーを握るだけで、前・後輪のブレーキをバランス良くコントロールするコンビブレーキに加え、制動時の車輪ロックを回避し、停止までの安定性を高める「ABS」機能を併用。ブレーキ時に、前・後輪部の車速センサーが車輪のロックを検知すると、その信号を受けたECUが車輪のロックを回避するよう制動力を適切にコントロールするシステムです。

右ブレーキレバーの操作は、従来どおり前輪ブレーキに作用し、ABSがブレーキのかけ過ぎによる前輪ロックを回避します。

コンバインドABSにより、とっさの急制動や雨天時などの滑りやすい路面状況でも過度の緊張から解放され、簡単な操作で確実なブレーキを掛けることができます。

\*ABSは制動距離を短縮するためのシステムではありません。ABSはあくまでもライダーのブレーキ操作を補助するシステムです。したがって、ABSがない車両と同様に、コーナー等の手前では十分な減速が必要であり、無理な運転までは制御できません。

### コンバインドABS概念図

右ブレーキレバー操作では、前輪ブレーキが作動。左ブレーキレバー操作では、前輪ブレーキが後輪ブレーキと連動して作動。車輪のロック傾向を前・後輪の車輪速センサーが検知すると、ABS機能が働き、車輪のロックを回避するよう制動力を調整する。

